

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

東淡路小	学校
------	----

児童数	61
-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	12.83	15.75	32.48	34.86	35.68	9.67	140.36	18.24	46.13
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	13.42	16.00	38.26	34.42	28.97	9.96	139.06	12.66	49.41
大阪市	15.40	18.33	27.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、男子はすべての種目で全国、大阪市の平均を上回ることではできなかった。女子は長座体前屈の記録が全国平均、大阪市平均ともに上回った。体力合計点においては、男女ともに全国、大阪市平均に届かず、昨年度と比べても平均の数値に届かなかった。

運動は好きですか等の運動意欲に関する質問に対する肯定的な回答の割合は、全国平均に比べ、男子は若干だが下回り、女子は上回った。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子は全国平均、大阪市平均より多く、女子は全国平均よりは多かったが、大阪市平均は下回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度も、課題解決に向け、業間なわとびや体育の学習でのかけ足といった体力づくりの取組を計画的に実施した。また児童の運動委員会が計画した昼休みの運動遊びのイベントもあり、体力づくりや運動意欲の向上など、一定の成果を上げることができた。6月に行った新体力テストでの体力合計点は昨年度に比べて、男女ともに全国平均、大阪市平均には届かなかった。運動意欲に関する質問に対して最も肯定的な回答した割合は、男子は全国平均を若干下回ったが、女子は上回った。一方、テレビ、スマホ、ゲーム機などのVDT機器を学習以外で3時間以上使用する児童の割合が、男子で62.1%（国42.7%）、女子で54.8%（国37.4%）と、男女ともに大きく上回った。

今後より多くの児童が、体力・運動能力の向上に意欲的に取り組めるような取組を計画していく必要がある。また生活習慣に関しては健康保持の面からも生活指導の面からもスマホの使い方について、児童に指導を続けるとともに、保護者に対して啓発をしていく必要がある。